

第7教育指導計画

1. 総合農学科第1学年教育指導計画表

(1) 教養科目 (各コース共通)

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
暮らしと法律 16時間 (楢林 建司)	生活と法律との結びつきを理解させ、法律を身近なものとする。	1. 法律とはどのようなものか 2. 消費者保護 3. 日常生活に関わる民法の基本原則 4. 裁判員制度	配布資料	授業毎に提出するミニレポート
英語 I 16時間 (ロウ・リンダ・クリスティン)	実用英会話を中心とし、basicの英会話を身につけさせる。	1. 英語の復習 2. アクティブラーニング (ペアーワーク・グループワーク)	Project English アクティブに学ぶ英語コミュニケーション An Activity-based Guide to Everyday Conversation and Basic Grammar Vivian Morooka 著 足立綾 著南雲堂 (9784523179368)	テストの平均点(50%) アクティブに授業活動に参加する(50%)
情報処理 I 32時間 (籾野 航大) (伊達 志穂美)	情報処理に関する基礎知識・技術及び情報モラルについて習得させる。	1. 農業における情報の活用 2. パソコンの基本操作 3. 文字の入力、文書の作成 4. 表計算、グラフの活用 5. インターネットの活用及び心構え	「できるWord&Excel&PowerPoint2021」 「実技で学ぶ情報モラル」	出席状況 受講態度 テスト
社会人基礎力 I 16時間 (外部講師)	自助、共助、協働を原則として、社会の様々な場で防災活動を行うことができる十分な意識と一定の知識・技能を取得させる。	1. 防災士養成講座(講習)	配布資料	出席状況 受講態度
進路対策ゼミ I 16時間 (外部講師)	自営や法人就農・農業関連団体への就職に向けての対策や対応を学ぶ。	1. 法人マッチング 3. 青年農業者との交流 3. ジョブ・カードセミナー 4. 就職に向けたマナー・言葉遣い等	配布資料	出席状況 受講態度

(2) 専門科目 (各コース共通)

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
農業DX I 16時間 (農林水産研究所・外部講師)	社会とDX、農業とDXの関わりを理解し、デジタル技術を活用した効率の高い農業のあり方を学ぶ。	1. DX社会の概要 2. 農業DX概論 3. 農業DXを活用した愛媛農業 4. データ活用農業		出席状況 受講態度
農業経営 16時間 (田中 克也)	農業経営のために必要な基礎的理論や用語を習得させる。	1. 日本と世界の農業 2. 日本農業の動向と役割 3. 農業経営の主体と目的 4. 農業経営をとりまく環境	「農業経営概論」 実教出版株式会社	出席状況 テスト
農業簿記 32時間 (井上 俊一) ※A選	複式農業簿記の基本を理解させ、簿記一連の手続きと決算書を作成させる。 農業簿記の実務と農業簿記検定3級を目指す。	1. 複式農業簿記の基本(簿記一巡の手引き) 2. 仕訳と総勘定元帳への転記 3. 試算表及び精算表と決算修正について 4. 決算書の作成について	「農業簿記検定教科書3級」	出席状況 試験(1回)
農業の環境と鳥獣害対策 16時間 農産園芸課 (本多 忠志) (山口 憲一) 自然保護課 (上野 太祐)	農業と環境の基本的な関わりや鳥獣害対策について学習し、これからの農業の発展について考えさせる。	1. 農業と環境の関係 2. 農業・農村の多面的機能 3. みどりの食料システム戦略(環境保全型農業、有機農業) 4. 野生鳥獣による被害の現状と対策	配布資料	授業終了後評価

※A選はアグリビジネス科の選択科目

(2) 専門科目 (各コース共通) つづき

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
農業概論 16時間 (眞田 誠) ※ア選	農業を営むうえで必要となる基礎的な知識と技術を習得させる。	1. 植物の性質と栽培の基本 2. 栽培技術と管理の基本 3. 土壌管理、病虫害防除の基本	「図解でよくわかる農業のきほん」 誠文堂新光社	筆記試験 出席状況
病虫害と防除計画 I 32時間 (芝田 英明) ※ア選	農作物一般に発生する主要病虫害の基礎知識と診断技術を身につけさせ、合理的な防除法を理解させる。	1. 病虫害の発生と環境 2. 主要病虫害の特徴と生態 3. 主要病虫害の防除法 4. 農薬の分類と特徴 5. 農薬の使用法	「病気・害虫の出方と農薬選び」 農文協	出席状況 受講態度 試験成績 を総合して評価
土壌肥料概論 32時間 (山内 豊)	作物栽培に不可欠な土壌の基礎知識を理解させ、各種肥料の特性について学習させる。	1. 土壌の基礎知識 2. 土壌の物理・化学性 3. 作物の栄養特性 4. 肥料の種類と特性	「土と施肥の新知識」 農文協	筆記試験 出席状況 受講態度
農業気象 16時間 (大上 博基) ※ア選	気象の基礎知識を習得し、農業生産への応用及び災害の対策を理解させる。	1. 農業における気象の基礎 2. 農業生産と気象 3. 気象データを利用したデータ駆動型の農業生産 4. 農業気象災害とその対策	資料配付	テスト
農業生産工程管理の導入と認証 16時間 農産園芸課 (清水 康雄) (藤原 慎也) (大西 真央) ※ア選	農業経営改善や効率化につなげるため、農業生産工程管理(GAP)の取組みを総合的に学習させる。	1. GAPの概念 2. GAPの実践 3. GAPの認証審査	配布資料	出席状況 受講態度 試験成績 を総合して評価
毒物劇物取扱者特別講義 16時間 (済川 誠) ※ア選	農薬の適正使用を徹底するため、毒物劇物についての知識を習得するとともに、毒物劇物取扱責任者の資格取得を目指す。	1. 毒物及び劇物取締法 2. 基礎化学 3. 薬物の種類と性質 4. 薬物の識別と取扱方法	「毒物劇物取扱者試験受験必携」(細谷出版)及び配布資料	出席状況 受講態度 試験成績 を総合して評価
刈払機取扱作業安全衛生教育実習 16時間 (コベルコ教習所) ※ア選	農作業の安全を確保するため、刈払機の取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. 刈払機に関する知識 2. 刈払機を使用する作業の知識 3. 刈払機の点検・整備の知識 4. 振動障害及びその予防の知識	「刈払機取扱作業者教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得の状況を総合して評価
危険物取扱者資格特別講義 16時間 (県危険物安全協会連合会) ※ア選	危険物取扱者試験準備講習会を受講し、乙種第4類の資格取得を目指す。	1. 法令 2. 乙4試験例題 3. 基礎物理・科学 4. 危険物の性質	危険物取扱必携(法令編)(実務編)、例題集	資格取得の状況
アーク溶接等特別教育 16時間 (コベルコ教習所) ※ア選	労働安全の確保するため、アーク溶接機の取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. アーク溶接・装置に関する知識 2. アーク溶接の作業方法に係る知識 3. アーク溶接の作業方法の知識 4. アーク溶接の作業の操作	「アーク溶接作業者教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得の状況を総合して評価
フォークリフト運転技能講習 32時間 (コベルコ教習所) ※ア選	労働の安全を確保するため、フォークリフトの取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. フォークリフトの荷役に係る知識 2. フォークリフトの運転に係る知識 3. フォークリフトの走行の操作 4. フォークリフトの荷役の操作	「フォークリフト運転者教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得の状況を総合して評価
大型特殊自動車(農耕車限定)運転免許取得講習 32時間 (橋堀 亮太) ※ア選	農作業安全を確保するため、大型特殊自動車(農耕車限定)の取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. 乗車・降車の方法 2. 安全確認の方法 3. 進路変更の方法 4. 右折・左折の方法 5. 方向転換の方法 6. 関係交通法規	配布資料	受講態度 資格取得の状況を総合して評価

※ア選はアグリビジネス科の選択科目

(2) 専門科目 (各コース共通) つづき

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
小型車両系建設機械 特別教育 16時間 (コベルコ教習所) ※ア選	労働安全の確保するため、 小型車両系建設機械の取扱方法 を習得するとともに資格を 取得する。	1. 小型建機の走行・作業に係る知識 2. 小型建機の運転に係る知識 3. 小型建機の走行の操作 4. 小型建機の作業の操作	「小型車両系建設 機械運転者教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得 の状況を 総合して 評価
ガス溶接技能講習 16時間 (コベルコ教習所) ※ア選	労働安全の確保するため、 アーク溶接機の取扱方法を習 得するとともに資格を取得す る。	1. ガス溶接・装置に関する知識 2. ガス溶接の作業方法に係る知識 3. ガス溶接の作業方法の知識 4. ガス溶接の作業の操作	「ガス溶接作業者 教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得 の状況を 総合して 評価
農業機械利用 I 16時間 (大西 博史)	農業機械の基礎知識を習得 させるとともに、基礎的な安全 使用の操作技能を身につけ させる。	1. 農業機械の概要 2. 農業機械の構造と基礎知識 3. 農作業事故と安全対策 4. 点検整備の基礎	「農業機械の構造 と利用」 農文協	出席状況 受講態度 試験成績 を総合し て評価
農畜産物加工 I 16時間 (石井 之悠)	農畜産物を加工し貯蔵性を高 める方法と活用について習得 させる。	1. 農畜産物加工の意義と目的 2. 食品の腐敗・変質の要因と対策 3. 貯蔵技術の種類と原理 4. 原材料の特性と加工用途 (穀類・ 畜産物を中心に) 5. 食品ロスを考える。	配布資料	出席状況 受講態度 試験成績 を総合し て評価

※ア選はアグリビジネス科の選択科目

(3) 専攻科目 (農産園芸コース)

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
植物育種 32時間 農水研 (岡本 充智) (大嶋 涼達) ※ア選	植物の育種について基礎的 な手法を理解させ、品種育成 の過程等、実践的な育種方法 を習得させる。	1. 植物育種の目的 2. 育種の歴史と品種の定義 3. 植物の遺伝と生殖 4. 組織培養と育種 5. 固定・F1品種の育種 6. 品種の登録と育種家の権利	配布資料	出席状況 受講態度 試験成績 を総合し て評価
植物生理 32時間 (芝田 英明) ※ア選	植物の生理について基礎知 識を身につけ、作物栽培に対 する応用技術習得に向けての 基礎的技術を身につけさせ る。	1. 植物体の構造 2. 光合成・代謝・呼吸 3. 植物の生長と環境要因 4. 発芽・開花・結実・生体制御 5. 植物ホルモン	配布資料	出席状況 受講態度 試験成績 を総合し て評価
土壌調査法 16時間 (山内 豊) ※ア選	農業における土壌調査の意 義を理解させ、土壌の基礎的 な調査法を習得させる。	1. 土壌調査の基礎 2. 土壌採取の実際 3. 土壌の物理性・化学性の診断 4. 調査結果の評価	「土と施肥の新知 識」 農文協 配布資料	筆記試験 出席状況 受講態度
植物調査法 16時間 (芝田 英明) ※ア選	農業における観察の基礎を 身につけ、病害虫の基礎的な 調査法を習得させる。	1. 病害の分類 2. 害虫の分類 3. 病害虫の診断眼・見分け方 4. 病害虫の発生調査	「病気・害虫の出 方と農薬選び」 農文協	出席状況 受講態度 試験成績 を総合し て評価
野菜・花き・作物栽 培概論 48時間 (宮崎 功) (石丸 佳津) (越智 修次) ※ア選	主要な野菜・花き・作物生 産の現状と動向について理解 させるとともに、基本作型の 栽培基礎知識を習得させる。	1. 野菜・花き・作物生産の現状と 消費 2. 野菜・花き・作物の分類と生産 環境 3. 野菜・花き・作物の生育特性 4. 野菜・花き・作物栽培の基本的な 栽培管理技術	「野菜園芸学の基 礎」「花卉園芸学 の基礎」「作物学 の基礎 I」 一般社団法人農山 漁村文化協会	出席状況 受講態度 試験成績 を総合し て評価

※ア選はアグリビジネス科の選択科目

(3) 専攻科目 (果樹コース)

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
植物育種 32時間 (中田 治人) ※ア選	果樹の育種について基礎的な手法を理解させ、品種育成及び繁殖の基礎知識を習得させる。	1. 果樹育種の目的と歴史 2. 植物の遺伝と繁殖 3. 主要果樹の育種目標 4. 果樹育種の手法 5. 品種の登録と育種家の権利	配布資料	出席状況 受講態度 試験成績 を総合して評価
植物生理 32時間 (井上 久雄) ※ア選	果樹の栽培技術の生理的背景を理解し、修得させるために、果樹の栽培生理についての基礎知識を身につけさせる。	1. 植物細胞の構造と機能、器官 1. 果樹の光合成と呼吸、養分吸収 2. 植物ホルモンの生理作用 3. 枝葉の成長と花芽文化、休眠生理 4. 果実の発育と成熟生理 5. 単為結果誘起の方法とその機構 6. 頂芽優勢と果樹の整枝剪定 7. 果樹のバイオテクノロジー	「果樹園芸学の基礎」 一般社団法人農山漁村文化協会	出席状況 受講態度 試験成績
土壌調査法 16時間 (山内 豊) ※ア選	農業における観察の基礎を身につけ、土壌の基礎的な調査法を習得させる。	1. 土壌調査の基礎 2. 土壌の物理性・化学性 3. 調査・研究方法 4. 論文取りまとめ方法	「土と施肥新知識」 農文協 配布資料	筆記試験 出席状況 受講態度
植物調査法 16時間 (芝田 英明) ※ア選	農業における観察の基礎を身につけ、植物体の基礎的な調査法を習得させる。	1. 病害の分類 2. 害虫の分類 3. 病害虫の診断眼・見分け方 4. 病害虫の発生調査	「病気・害虫の出方と農薬選び」 農文協	出席状況 受講態度 試験成績 を総合して評価
果樹栽培概論 48時間 (政本 泰幸) ※ア選	果樹の生理生態を習得するとともに、その特性を把握させ、栽培全般の基礎知識を習得させる。	1. 果樹の栽培と利用 2. 果実の生産と消費 3. 果樹栽培の分布と品種 4. 果樹の生長と果実生産 5. 基本的な栽培管理技術 6. 収穫後の生理と貯蔵・加工	「果樹栽培の基礎」 農文協	出席状況 受講態度 試験成績 を総合して評価

※ア選はアグリビジネス科の選択科目

(3) 専攻科目 (畜産コース)

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
家畜生理 32時間 (高橋 弥生) ※ア選	家畜の生理に関する専門的知識を習得させる。	1. 血液の成分と機能 2. 消化吸収の過程と機能 3. 呼吸器官の構成と機能 4. 体内代謝とホルモン 5. 繁殖生理	「家畜の解剖と生理【新装版】」 養賢堂 配布資料	修業試験 受講態度
家畜解剖 32時間 (高橋 弥生) ※ア選	家畜の各器官とその役割について専門的知識を習得させる。	1. 消化器の役割 2. 泌尿器の役割 3. 呼吸器の役割 4. 運動器の役割 5. 生殖器の役割 6. 循環器の役割	配布資料	修業試験 受講態度
家畜育種と繁殖 32時間 畜産研究センター (岡 幸宏) 養鶏研究所 (檜垣 邦昭) ※ア選	家畜の品種の育成及び育種改良の専門的知識を習得させる。	1. 家畜育種の歴史 2. 遺伝子と育種の基礎 3. 育種目標と育種方法 4. 家畜の性分化と機構 5. 生殖ホルモンの種類 6. 性現象と繁殖行動 7. 妊娠と分娩	配布資料	修業試験 受講態度

※ア選はアグリビジネス科の選択科目

(3) 専攻科目 (畜産コース) つづき

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
飼料栄養Ⅰ 16時間 畜産研究センター (山田 大輝) 養鶏研究所 (小島 潤也) ※ア選	家畜の栄養と飼料についての基礎的な知識と技術を習得させる。	1. 飼料の分類 2. 粗飼料の特性 3. 濃厚飼料の特性 4. 飼料配合と給与	配布資料	修業試験 受講態度
家畜飼養管理Ⅰ 32時間 畜産研究センター (岸本 勇氣) 乳牛 (横路 愛奈) 肉牛 (石川 真優) 豚 養鶏研究所 (若田 雄吾) ※ア選	家畜の飼養計画や飼養技術、施設や経営についての基礎的な知識を習得させる。	1. 乳用牛の飼養管理概論 2. 肉用牛の飼養管理概論 3. 豚の飼養管理概論 4. 鶏の飼養管理概論 5. 我が国の畜産沿革及び特徴	配布資料	修業試験 受講態度

※ア選はアグリビジネス科の選択科目

(4) 実習

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
専攻実習Ⅰ 416時間 専攻実習Ⅱ 288時間 (農産園芸コース) (果樹コース) (農大職員・ 試験研究機関・ 外部講師)	主要野菜・果樹・花きの年間を通じた栽培実践を行うことにより基本技術を習得させるとともに、農業DX等の先進技術を学ぶほか、気候・規模等生産条件の違う農業体験や本校で収穫した農産物を使用した加工、農産物販売による消費者との交流等、広い視野を身につけさせる。	1. 栽培、施肥、病虫害防除管理 2. 収穫、調整、出荷の実践 3. 施設栽培の管理 4. 農業機械による作業の実践 5. 北海道農業体験実習 6. スマート農業機器体験実習 7. 販売実習 8. 加工実習 9. その他 (希望者) ・ドローン実習 ・食品衛生責任者資格取得講習		出席状況 実習査定
専攻実習Ⅰ 416時間 専攻実習Ⅱ 288時間 (畜産コース) (農大職員・ 試験研究機関)	基礎的な各家畜の個体管理及び畜舎管理、飼料作物の収穫調製技術を習得させるとともに、気候・規模等生産条件の違う農業体験や農産物販売等による消費者との交流により、広い視野を身につけさせる。	1. 肉用牛の個体管理と審査 2. 乳用牛の個体管理と審査 3. 豚の個体管理と審査 4. 鶏の個体管理と審査 5. 畜舎の防暑・防寒対策 6. 飼料作物の収穫・調製 7. 北海道農業体験実習 8. 販売実習 9. その他		出席状況 実習査定